

【9月5日刊行 好評発売中】

関連棚：福祉・障害者・貧困・起業

ぼくは福祉で生きることにした

——お母ちゃんがくれた未来図

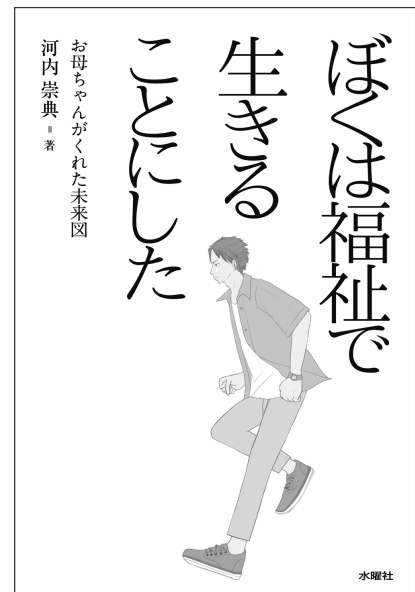
四六判 並製208頁 本体 1,500円 ISBN978-4-88065-531-4 C0036 河内崇典 著

待ち受け画面はある人のお墓の写真。

福祉を知らなかったぼくが、福祉で働き、福祉に生かされている。

成績ビリの19歳大学生。ひよんなことで介助を手伝うことになり、その男性のお母ちゃんと出会いが運命を変えた。

福祉は特別なものではなく、ぼくたちの暮らしそのもの。学生ヘルパーだった4人の仲間です。大阪を拠点に、20以上の事業、学生を含めスタッフ200人以上に育てた著者が、もしかしたら「自分には何もできない」「やりたいことがわからない」「福祉は特別なもの」と思い込んでいる若者たちに贈る口語の語りおろし。福祉関連の起業・就職をめざす人にも好適なガイドとなる1冊。



第1章 福祉と出会う

第2章 みらいず誕生。ヘルパー派遣、代行します

第3章 変わらない現実

第4章 施設から地域へ —— 当事者たちの活動

第5章 すべてを失って、被災地支援へ

第6章 福祉を変える・社会を変える

【コラム】ガイドヘルパーとは／公共性の高い事業を行う「社会福祉法人」／NPO法人のつくり方／発達障害者への支援／福祉の仕事に役立つ資格／成年後見制度／障害福祉サービスの体系／スクールソーシャルワーカーの仕事／社会起業家インタビュー／介護保険／自分にあった福祉の仕事を見つける／子どもの貧困

【著者】河内 崇典 (かとうち・たかのり)

NPO法人み・らいず2代表理事。1976年大阪市住之江区出身。大学時代に障害をもつ男性の入浴介助に携わったことをきっかけに、仲間とともにサークルを立ち上げ。以降、大阪を拠点に障がい児・者、子ども・若者の支援活動を続けながら、社会福祉領域における課題解決に挑む事業体の設立にも携わる。NPO法人edge代表理事、一般社団法人FACE to FUKUSHI共同代表。近畿大学非常勤講師。愛読書は『キン肉マン』。座右の銘は「へのつっぱりはいらんですよ」。



水曜社 東京都新宿区新宿1-26-6
☎03-3351-8768

弊社の出版物はいつでも返品入帖いたします。
取次：・ト・日・楽天BN・JRC・中・教・鎌谷・全官報

Fax 03-5362-7279

FAX不要の書店様はご返信ください FAX中止

新刊：9月5日刊行

書店印 【注文扱返条付】	水曜社	
	注文冊数	僕は福祉で生きることにした ——お母ちゃんがくれた未来図
御担当	様	冊
		ISBN978-4-88065-531-4 C0036
		河内崇典 著 本体 1,500円